

フィンランド語準中級講座①⑥

「テキストを読んで復習（２）」

資料掲載サイト

「フィンランド語との対話」 [<https://yoshidakingo.com/>]

Mysteeri on salaisuus, joka ei ole paljastunut. Jos emme tiedä, mitä todella on tapahtunut, asiasta tulee mysteeri. Salapoliisit ratkovat mysteerejä. Kerron nyt yhdestä mysteeristä, jonka salapoliisi ratkaisi. Asia ei enää ole mysteeri, se on selvitetty juttu. (Lomasuomea, 8)

ミステリーは | である | 秘密 |、それは | 明らかになっていない。[もし | 我々が知らない |、何が | 本当に | 起きているのか] |、その件から | 来る | ミステリーが。探偵は | 解決する | ミステリーを。私は語る | 今 | 一つの | ミステリーについて |、それを | 探偵が | 解決した。その件は | ~ではない | もはや | である | みすてりー |、それは | である | 明らかにされた | 話。

Kylän asukkaat **olivat** monta vuotta **uskoneet**, että rantatalossa **asui** kummitus. Rantatalossa **soi** musiikki, vaikka talossa **ei asunut** ketään. Asukkaat **olivat kuolleet**. Heillä **ei ollut** jälkeläisiä. Talo **oli ollut** tyhjä viisi vuotta. Se oli lukittu. Vanhat huonekalut olivat paikoillaan.

村の | 住人たちは | 多くの | 年 | 信じていた | 、 [~だと | 岸辺の家に
| 住んでいた | お化けが。岸辺の家で | なった | 音楽が | 、 [~だが | 家
には | 住んでいなかった | 誰も。住人たちは | 死んでいた。彼らには |
いなかった | 跡継ぎたちが。家は | 出会った | 空で | 五 | 年。それは |
であった | カギをかけられて。古い | 家具は | あった | 場所に・自分た
ちの。

Monena yönä talosta kuului pianon soittoa. Miksei kukaan mennyt katsomaan? Monet menivät ja monet jäivät yöksi rantatalon pihalle. Silloin musiikkia ei kuulunut. Kummitus ei soittanut pianoa, jos pihalla oli joku.

多くの | 夜に | 家から | 聞こえた | ピアノの | 演奏が。なぜ~ないのか
| 誰も | 行った | 見るために。多くの人が | 行った | そして | 多くの人が
| 残った | 夜の間 | 岸辺の家の | 庭へ。そのとき | 音楽は | 聞こえな
かった。お化けは | 演奏しなかった | ピアノを |、もし | 庭に | いた |
誰かが。

Salapoliisi Karl Heinzmann **halusi** selvittää arvoituksen. Hän **vei** mikrofonin taloon ja **asetti** sen pianon viereen. Hän **pystytti** teltan kukkulalle, joka **oli** sadan metrin päässä talosta. Hän **asetti** kuulokkeet korvilleen. Hänellä **oli** myös kiikari. Sillä hän **katsoi** koko ajan, mitä talossa **tapahtui**.

探偵 | Karl Heinzmann は | 望んだ | 明らかにする | 謎を。彼は | もって
行った | マイクロフォンを | 家へ | そして | 設置した | それを | ピア
ノの | そばへ。彼は | 立てた | テントを | 丘へ | 、それは | あった | 百
| メートルの | 先に | 家から。彼は | 設置した | イヤフォンを | 耳へ・
自分の。彼には | あった | また | 双眼鏡が。それで | 彼は | 見た | [全
| 時間] | 、何が | 家で | 起こった。

Kello oli jo yksi. Karl makasi teltan oviaukossa ja tuijotti taloa. Talo pysyi pimeänä. Mitään ei tapahtunut. Mitään ei kuulunut. Aika kului hitaasti. Yö oli kylmä. Yhtäkkiä kuulokkeet räätisivät ja sitten se alkoi! - Tadam, tadam, tadam...

時刻は | であった | すでに | ー。Karl は | 横になった | テントの | 入り口に | そして | 見つめた | 家を。家は | ままだった | 暗い。何も | 起こらなかった。何も | 聞こえなかった。時は | 過ぎた | ゆっくりと。夜は | であった | 寒い。突然 | イヤフォンが | (パチパチと) 音を立てた | そして | それは | 始まった！ Tadam, tadam, tadam...

Karl **pidätti** henkeään. Piano **soi**. Hän **suuntasi** kiikarinsa talon ikkunaan. Kuu **tuli** samassa hetkessä esille pilven takaa. Kuu **valaisi** taloa. Silloin Karl **näki** kummituksen! Hän **näki**, kuka **soitti** pianoa. Valkoinen kissa **käveli** edestakaisin pianon koskettimilla. (Lomasuomea, 8)

Karl は | 抑えた | 息を・自分の。彼は | 向けた | 双眼鏡を・自分の | 家の | 窓へ。月が | 来た | 同じ | 瞬間に | 前へ | 雲の | 後ろから。月が | 照らした | 家を。そのとき | Karl は | 見た | お化けを！彼は | 見た |、誰が | 弾いていた | ピアノを。白い | 猫が | 歩いた | 前後へ | ピアノの | 鍵盤の上で。